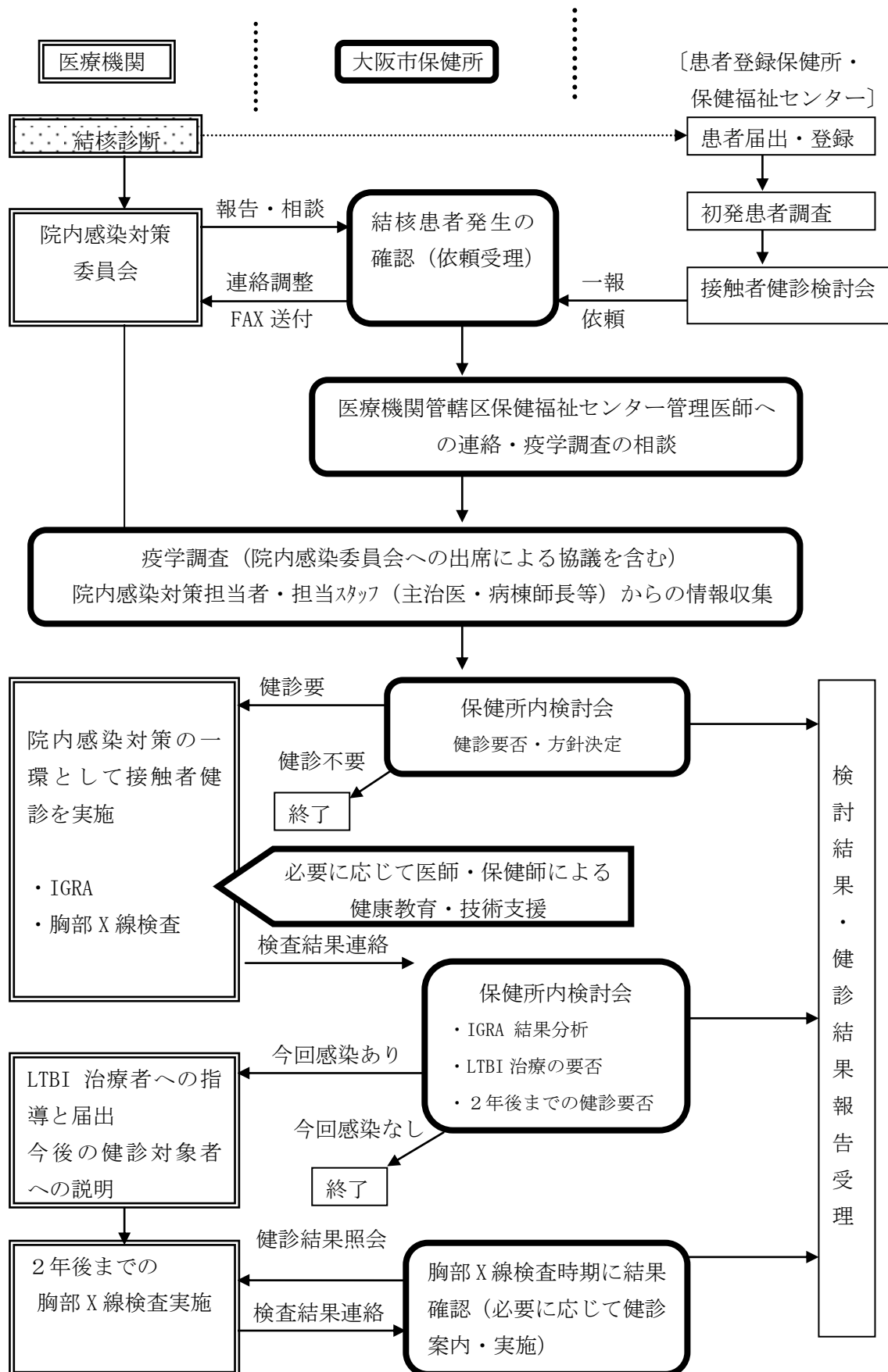


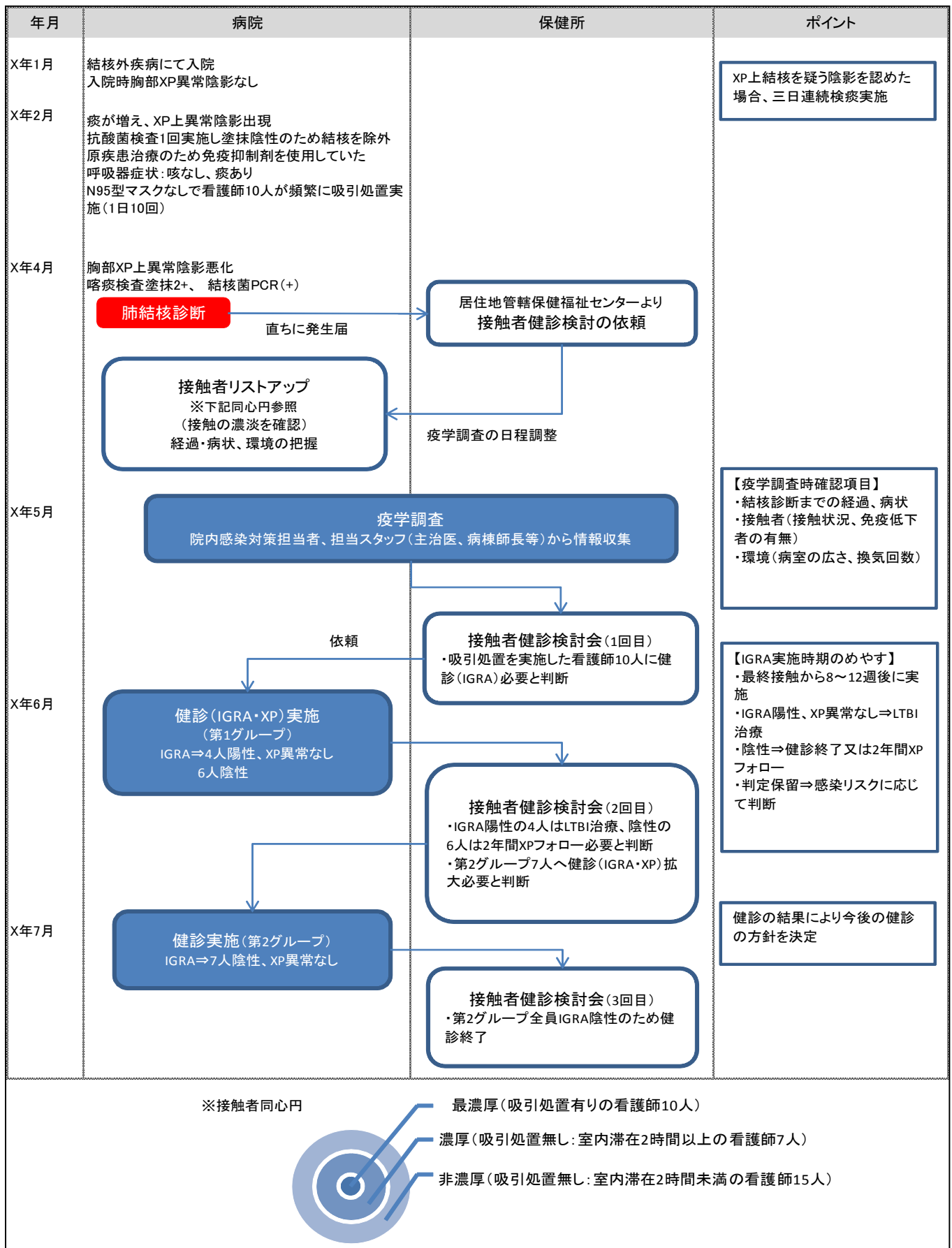
入院患者から結核菌陽性患者が発生した場合の対応

資料 1



患者発生から接触者健診の流れ（例）

資料 2



結核院内感染対策チェックリスト例

資料 3

(1) 院内感染対策指針	作成している。前回の改訂時期（ 年 月）	はい・いいえ
(2) 院内感染対策委員会	委員に医師、看護師、臨床検査技師、薬剤師、事務が含まれている。 結核患者発生時に対応する責任・担当医師が指定されている。 患者発生時に開催された。 委員会の記録・報告が残されている。	はい・いいえ はい・いいえ はい・いいえ はい・いいえ
(3) 院内感染リスクの評価	病院内で入院患者、職員から結核患者が発生したとき、状況分析を実施した。	はい・いいえ
(4) 患者早期発見の施策	原則として、入院患者全員に対して緊急入院患者も含めて胸部 X 線検査を実施した。 入院患者のうち、胸部 X 線検査異常者及び有症状者には、全員、喀痰塗抹検査を実施した。	はい・いいえ % はい・いいえ %
(5) 外来での感染予防	外来でのトリアージで「咳をしている方はお申し出ください」という趣旨の掲示をしている。 申し出た患者には、マスク着用を依頼している。 結核を疑った場合には、個室待合を利用している。	はい・いいえ はい・いいえ はい・いいえ
(6) 構造設備・環境面の対応	採痰ブースを外来に設置している。 気管支鏡検査室に高性能フィルター付空気清浄機を設置している。 結核を疑う患者の気管支内視鏡検査は最後にしている。 結核菌検査は、安全キャビネットの中で実施している。	はい・いいえ はい・いいえ はい・いいえ はい・いいえ
(7) 職員の感染防止	患者が病室から出るとき、面接のときには、マスクを着用している。 医療職員は、患者の病室に入るとき、診察、面接時に N95 型マスクを着用している。 結核を疑う患者の気管支内視鏡検査に携わる者は N95 型マスクを着用している。	はい・いいえ はい・いいえ はい・いいえ
(8) 職員の健康管理	結核の診断治療及び院内感染予防に関する教育を実施した。 結核教育の小冊子を作成している。 有症状受診を奨励している。（具体的方法を記載する） 定期健康診断対象の受診率 医師（ %） 看護師（ %） その他職種（ %） 新規採用医療従事者に IGRA を実施している。	はい・いいえ はい・いいえ はい・いいえ はい・いいえ
(9) 患者発生時の対応	過去 3 年間に紹介患者以外で患者・職員から何人結核患者が発生したか（ 人）。 院内で結核菌陽性患者が発生した場合の対応策が確立している。 責任者及び担当者を選定している。 集団感染が疑われる際の接触者健診の方針策定を、保健所・保健福祉センターと連携して、実施した。	はい・いいえ はい・いいえ はい・いいえ はい・いいえ

結核菌に汚染された可能性のある診療器具等の感染防止上の消毒例を以下に示す（表 1）。患者の粘膜に接触するセミクリティカル器具（気管支鏡、喉頭鏡、挿管チューブなど）は、高水準消毒を行う必要がある。結核患者に使用した器具であっても、ノンクリティカル器具（聴診器や血圧計のマンシェット等）や患者の健常皮膚に触れるだけの物品（リネン、電話器等）など、喀痰などによる特別な汚染がなければ、通常の洗浄・清拭を行う。食器や室内も同様である。

表 1：結核菌に対する消毒例

1) より引用作成

対 象		消毒薬と方法
セミクリティカル器具	内視鏡	・2~3.5%グルタラルールや 0.55%フタラルールへ 10 分間浸漬* ・0.3%過酢酸へ 5 分間浸漬
	呼吸器関連の器材	・ウォッシャーディスインフェクター（80℃・3 分間など） ・0.05%~0.1%（500~1,000ppm）次亜塩素酸ナトリウムへ 30 分間浸漬
ノンクリティカル器具、物品、環境等 （特に消毒が必要な場合のみ）	床頭台	・アルコールで清拭
	オーバーテーブル	・0.5%両性界面活性剤で清拭
	洋式トイレの便座 フラッシュバルブ 水道ノブ、ドアノブ	・アルコールで清拭
	床	・0.5%両性界面活性剤で清拭
	リネン	・熱水洗濯（80℃・10 分間など） ・0.05%~0.1%（500~1,000ppm）次亜塩素酸ナトリウムへ 30 分間浸漬
	食器	・熱水洗濯（80℃・10 秒間など） ・0.2%両性界面活性剤へ 1 時間浸漬

*濃度表示はアルコール系は vol (v/v) %, 3.5%グルタラルールでは w/w%, その他では w/v%.

- 1) 小林寛伊 編集：消毒と滅菌のガイドライン 第 1 版第 4 刷（補訂版）．東京：へるす出版，2014：60-61.
- 2) 加藤誠也：結核院内（施設内）感染対策の手引き（平成 26 年版）．厚生労働省インフルエンザ等新興再興感染症研究事業「結核の革新的な診断・治療及び対策の強化に関する研究」．2014. 3; 16.

